

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 商業・サービス産業支援課

担当名: 映像コンテンツ担当

内線: 3734

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B11	映像関連産業振興費			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	映像関連産業振興費	
事業期間	平成14年度～ 令和14年度	根拠法令	なし			宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
						分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進		
1 事業概要 映像関連産業の導入・集積を図るため、彩の国ビジュアルプラザの効果的・効率的な管理運営を行う。 あわせて、本県における映像関連産業の振興を図るため、各種の施策を展開する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア SKIPシティA2街区維持管理業務費及び彩の国ビジュアルプラザ管理運営費等 イ 彩の国ビジュアルプラザ管理運営費 ロ 彩の国ビジュアルプラザ管理運営費 ハ SKIPシティ国際Dシネマ映画祭負担金等 ニ 情報発信システム、ライブラリーシステム等の機器賃貸借経費 ホ 彩の国ビジュアルプラザ映像機器更新費 イ 彩の国ビジュアルプラザ県管理経費 ウ SKIPシティ整備推進費 エ 彩の国映像コンテンツ産業振興ネットワーク運営費 (2) 事業計画 ア 平成31年度 開設後16年を経過した彩の国ビジュアルプラザにおいて、賑わい創出と集客を意識した効果的・効率的な事業実施、映画祭や関係業界との連携等により映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。 イ 平成32年度～ 引き続き、効果的・効率的に事業を展開し、映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。 (3) 事業効果 映画祭のコンペティション部門に98を超える国と地域からの作品応募、育成したクリエイターが国内外の映画祭での受賞や作品の劇場公開などで活躍、年間2万人以上の子ども達が映像ミュージアムの映像学習を体験 (4) 補正予算の概要 ア 歳入 彩の国ビジュアルプラザの使用料収入が当初の見込みを下回ったことによる減額及び、配給収入が当初の見込みを上回ったことによる増額 イ 歳出 事務経費の節減により生じた執行残の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.0人=38,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		使用料・手数料	財産収入	諸収入	県債				
決定額	△5,580	△8,470		4,958				△2,068	1,026,097
現計額	1,031,677	79,131	23,696	10	200,000			728,840	